

令和八年度春季入学(春季募集)

熊本県立大学大学院 文学研究科日本語日本文学専攻 博士前期課程

一般選抜(国際協力枠)入学試験問題

― 注意事項 ―

- 1 試験開始及び終了は、監督者の時計が基準です。監督者の指示に従ってください。
- 2 試験開始後は四十分経過するまで退室できません。また、試験終了の十分前から退室できません。
- 3 試験開始の合図があるまで、問題冊子を開いて中を見てはいけません。
- 4 解答用紙への受験番号などの記入は試験開始の合図があつてから始めてください。
- 5 設問は 一 二 三 の三題です。解答すべき問題は次の通りです。
 - 一 全員必須
 - 二 ①②とも全員必須
 - 三 ③～⑩のうちから二問のみを選択
- 6 一と二の解答については解答用紙(設問 一・二)に記してください。また、三の解答は全て解答用紙(設問 三)に記載し、解答用紙の冒頭の番号欄には、どの問題に対する解答かわかるように③～⑩までの番号のいずれかを記してください。
- 7 解答用紙は五枚用意されています。追加で解答用紙が必要な場合は静かに手を挙げてください。
- 8 答案回収時に解答用紙を提出しない場合、本科目は採点されません。
- 9 試験終了後、この問題冊子は持ち帰ってください。

一 次の影印本文を読んで後の問題に答えよ。

著作権保護の観点から、問題文は掲載していません。

出典：国立国会図書館デジタルコレクション <https://dl.ndl.go.jp/pid/2532375/1/15> より

問一 傍線部Aの意味を答えよ。

問二 傍線部Bを現代語の発音に則して濁点を補った上で翻刻せよ。

問三 傍線部Cは旧国名である。その表記として適切な漢字三字を答えた上で、それが現在の都道府県のいずれに該当するかを漢字で答えよ。

問四 傍線部Dの地名の由来について、本文の内容に則して説明せよ。

問五 傍線部E・Fの字母を答えよ。

問六 影印本文の作品名を答えよ。

二 次の問題に答えよ。(二問とも必須)

① 訓令式ローマ字とヘボン式ローマ字の違いについて知るところを述べよ。

② 日本文学に対する海外文物からの影響に関して、古代から近代までを見通して、その中から複数の事例を挙げて述べよ。

三 次の問題の中から二問を選択して答えよ。(二問のみ選択)

③ 十九世紀末(一九〇〇年)までに成立した外国人による日本語研究の成果を一つ挙げ、その記述によって知られる日本語史研究上の知見について説明せよ。

④ 過去には存在し現在は滅んでしまった書物を復元したものを輯佚書と言うが、輯佚書を資料として用いる際の留意点について述べよ。

⑤ 談義本の特徴と文学史的意義について、代表的作品や作者などを例示しつつ説明せよ。

⑥ 近代文学と出版の関わりに関して、具体的事例も挙げつつ述べよ。

⑦ 以下の三首は、『源氏物語』御法巻の(i)紫の上・(ii)光源氏・(iii)明石の中宮の歌である。この三首の関係を、物語文学における和歌という観点から説明せよ。

著作権保護の観点から、問題文は掲載していません。

⑧ あるSNS(https://x.com/renten_nf/status/2005922463562232043)に「たのしいかいこの発表会」と書かれた垂れ幕の写真が上がっており、『蚕か、区切りを間違えて「知らねえよ!」って呟いてしまった…』というコメントが付いていた。仮に、この垂れ幕に書かれた内容が共通語の音声で発せられたものであれば、コメントにあるような区切りを間違える、という可能性は無かったと思われるが、その理由について音声学・音韻論の観点から説明せよ。

⑨ 次に掲げるのは、恋田知子『異界へいざなう女 絵巻・奈良絵本をひもとく』（平凡社）「はじめに」の中の一節である。

著作権保護の観点から、問題文は掲載していません。

右の記述にある「さまざまな物語」との関係から、「お伽草子」（室町物語）の文学史的特徴を説明せよ。

⑩ 日本語における受身あるいは受動文の機能（どのような場合に使われやすいか）について説明せよ。

以下余白